

三ヶ尻小まなびフェスト 2025 ～学校・家庭・地域で、三ヶ尻の子どもを育てよう～

— 確かな学力を身に付け、豊かな心の育成を図り、健やかな体をはぐくむ子 —



目指す 子供像	自ら学ぶ子ども（知）			心の豊かな子ども（徳）			たくましい子ども（体）		
	授業改善	確かな学力	家庭学習	あいさつ	自己肯定感	思いやり	体力づくり	生活リズム	心の健康
重点項目 ◎と付した項目は2学期末に保護者による関係者評価もいただき、達成を検証します。	児童自己評価◎ 「進んで考え、授業がわかる」87%以上を目指します。 	学力調査結果 平均値より2ポイント増を目指します。(全国学調・県学調・CRT) 	児童自己評価◎ 「毎日家庭学習（音読含）として10分間×学年+うちどく10分」87%以上を目指します。 *個別の目標調整あり ※家庭学習はテレビ等を消して。	児童自己評価◎ 「家庭・学校・地域であいさつができた」80%以上を目指します。	児童自己評価 「自分にはよいところがあった」93%以上を目指します。	児童自己評価 「友だちのよさを認め合い、仲良かった」80%以上 「いじめはどんな理由があってもいけない」100%を目指します。	児童自己評価 「運動能力テスト・60プラスプロジェクト・水泳・マラソン・縄跳びの取組をがんばった」87%以上を目指します。	児童自己評価◎ 「『早寝・早起き・朝ごはん』がよくできた」73%以上 「メディアコントロールがよくできた」70%以上を目指します。	実施実績 アンケートや調査を生かした面談等の個別対応を、年間3回（2学期末までに2回）以上実施します。
学校での 取 組	○児童の思考に寄り添い、対話的な学び合いを通して「わかった」・「できた」が実感できる「子どもを主語にした授業」の実現を目指し、改善を継続します。	○調査の分析結果を全職員で共有し、分析結果を活用した指導を工夫します。 ○特別支援教育を含めた個別最適な学びや、ICTの活用を充実します。	○「家庭学習強化期間」の設定や家庭学習の紹介等を実施し、発達段階に応じた家庭学習の充実を図ります。 ○保護者と相談しながら、必要であれば個に応じた内容・量の調整をします。	○学級・児童会・家庭・登校班であいさつ運動に取り組みます。 ○学校・地域であいさつのよい子を認め、意欲を高めます。	○称賛活動である「よさみつけ」を継続し、自身のよさを自覚させ、自己肯定感や主体性を高めます。	○「いじめ防止スローガン」や「いじめ防止集会」等、児童会の主体的な活動を推進します。 ○道徳教育の充実を目指すとともに、人権教育の推進や体験活動の充実を図ります。	○運動の自己目標を立てさせ、達成に向けて粘り強く取り組むよう支援します。 ○マラソンカード、縄跳び検定カード等を活用し、児童一人ひとりの意欲を高めます。	○主体的な健康づくりを推進するために、学級活動や委員会活動で啓発します。 ○各学年1回の食育指導を実施します。 ○ICT教育とあわせ、メディアコントロールの指導をします。	○児童の悩みや不安を、日常の観察や申し出だけでなく、学期に1回以上のアンケートや調査からとらえ、面談等のきめ細やかな個別対応を通して、解決を目指します。
家庭への お願い 2学期末に保護者自己評価をお願いします。	○家庭学習の様子を見たり、音読を聞いたり、時折親子読書をしたりなどして、認め励ますようにお願いします。長時間を要するなど継続が困難な場合は、個別に内容や量の調整をしますので、遠慮なくご相談ください。 ○家庭学習に集中できる環境づくりにご協力をお願いします。(テレビを消す等) ○学習用具等の持ち物を確認するよう声かけをお願いします。 			○家庭はもちろん地域でも、お互いにあいさつをしましょう。させましょう。 ○家庭や地域においても、子どものよさを小さなことでも褒め、自己肯定感や主体性を高めましょう。 ○家族の一員として、家の仕事をさせましょう。主体性を育てられますし、そこから褒めることも生まれます。してやるばかりでは、褒めることより注意が多くなります。 ○お子さんとの会話を大切にし、変わった様子や気になることがあるときには、すぐに学校へお知らせください。			○「 早寝（低学年午後9時、高学年午後10時までに）・早起き（午前6時までに）・朝ご飯を食べて登校 」の実践指導を継続してお願いします。 ○テレビやゲーム、スマホ等のメディアコントロールについて、家庭内でルールを決め、時折称賛や助言をしてください。特に決める必要のない家庭では、 平日2時間以内、休日3時間以内 をめどに時折確認してください。 ○「レスメディアデー」には、メディアについてのルールを確認し、メディアの時間を減らすと共に、家族での団らんや読書等に取り組むようお願いします。		